

赤坂台校区福祉協議会報



発行・堺市赤坂台校区福祉協議会
☎590-01堺市赤坂台2丁5-1(錦納)
☎0722-98-4500
*年4回発行 校区内全戸配布



豆まいて長生き

ほのぼのの会 敬老節分昼食会

ボランティア・グループ「赤坂ほのぼの会」は、一月二十九日(土曜日)午前十一時から赤坂

台自治会館で、恒例の敬老節分昼食会を開催しました。

出席のお年寄りは二三名、ポスターを見て知ったからと初めて来られた方もありました。手伝いの会員は十五名、市社協の中辻さんにも来ていただき、盛会でした。

献立は、会員心づくしの手巻き寿司におでん。楽しく会食してから、カラオケを楽しんだあと、「福はうち、オニはそと」と元氣よく豆をまいて今年の福を招き、年齢の数だけ豆を食べ、お開きとなりました。

お年寄りのみなさんに喜んでいただき幸いでした。

お花見昼食会

〓 四月二日

ほのぼの会では、恒例の敬老お花見昼食会を、次のように行います(雨天の場合は中止)。

● 四月二日(土)午前十一時から
● 会場は赤坂台公園、

ほのぼのの会

電話・託言・番号 変更

ボランティア・グループ「赤坂ほのぼの会」では、皆さんの参加をお待ちしています。

また、なにかお困りのことがあれば、どうぞ遠慮なく御相談ください。

なお、四月から受付電話番号を左のように変更いたします。お間違えのないように。

☎九九一四八九

小林文代さん(三丁南)

☎九九一三三二四

明星信子さん(五丁)

今年もガンバルぞ

なごこやかに新年交歓会

赤坂台校区福祉協議会恒例

の「新年交歓会」(総会)は、

一月三〇日(日)午前九時半

から、本会を構成する各団体

の代表約五〇名が出席して、

自治会館で開催されました。

まず為村会長が、昨年の活

動実績を報告し、今年も一層

の協力をお願いしたいと挨拶



この交歓会で決めることに

なっている「子どもカーニバ

ル」の日程について、本年は

一〇月二三日(日)に開催した

やかに交歓しました。

況や今年の抱負などが報告さ

れ、続いて立食パーティに移

り、今年の活躍を期してなご

やかに交歓しました。

校区内に出没!

空き巣にご用心

一月三〇日の校区福祉協議

会新年交歓会の席上、泉北警

察署赤坂台派出所の方から、

最近管内で「空き巣ねらい」

が多発し、赤坂台でも一丁・

三丁・四丁・五丁・六丁で被

害が発生しているとの警告が

ありました。とくに現金がね

らわれているようです。

手口は、あらかじめ留守を

い旨を提案、了承されました
(なお、今年の赤坂台音楽会
は、一〇月三〇日に予定され
ています)。

次いで、出席各団体から近

況や今年の抱負などが報告さ

れ、続いて立食パーティに移

り、今年の活躍を期してなご

やかに交歓しました。

確認してから、勝手口のガラ

スを破って鍵をはずし、侵入

するとのこと。

防犯委員のIさん宅もやら

れました。

派出所では、鍵を二重三重

に補強すること、外出すると

きは隣近所に声をかけること

などで、被害を未然に予防す

るように呼びかけています。

年末助け合い

「年末助け合い」は、堺市

社会福祉協議会の主唱で、赤

坂台校区では、昭和五十三年か

ら取り組み、今回で十七回目

になります。

各自治会のご協力により、

三二万一〇四四円の浄財が寄

せられました。

このうち二四万一二四〇円

を校区内配分に充て、身体障

害者(二級)・精神薄弱者(A)

・生活保護世帯・寝たきり老

人・高齢者クラブ・学童保育

児・保育園児を対象に、それ

ぞれ民生児童委員から贈呈、

残金は堺市社会福祉協議会に

寄託しました。

御芳志御礼

三宅洋介様(二丁三一四)

から、御尊父香典返しとして

金一封を校区福祉協議会に御

寄付いただきました。

カーニバルの七年

モデル校区等実績発表会

二月十六日(水)堺市社会福祉協議会主催の平成五年度校区福祉委員会モデル校区等実績発表会(南ブロック)が、梅文化会館に十一校区の関係者を集めて開催されました。

赤坂台校区福祉協議会からは、為村さん、渡辺さん、石飛さん、和田さんが出席しました。

今年度モデル校区・活動推進校区福祉委員会の代表が、それぞれ次のテーマで福祉活動の実績を発表しました。

- ◎赤坂台校区
- 赤坂台子どもカーニバル
- ◎新檜尾台校区
- 福祉意識の啓発を重点に
- ◎晴美台校区
- 配食活動を通じた安否確認

◎庭代台校区

おもちゃ図書館活動を通して高齢化と少子化を考える
赤坂台からは、為村会長が、七年間にわたって開催してき

子どもカーニバルの動機・目的・方法・成果・問題点について説明しました。

また子どもをとりまく環境がますます悪化するなかで、子ども達を健全に育成するために、家庭、学校、地域の関心と努力が必要であることを強調しました。

事例発表に感心

福祉活動指導者研修会

一月二七日(木)午前10時十五分から午後三時四十五分まで、大阪府社会福祉協議会主催の福祉活動指導者研修会が大阪社会福祉指導センターで開催され、赤坂台からは福祉協議会の沢田さんが出席しました。

まず、「宇治市の小地域ネットワーク活動」(宇治市社

発表をめぐって意見を交換しました。

上には上が

ありますね

|| 沢田さんの感想

中豊島福祉推進協議会ボランティア部会は、地区内の小中学生と協力して、とても素晴らしいボランティア活動をしています。

老人会、小中学生や父母が協力して、ジャガイモやサツマイモの畑をつくり、収穫の一部を寝たきりや身障者家庭にとどけたり(友愛訪問)、中学校生徒徒会が独り暮らしのお年寄りにあてた年賀状や暑中見舞状を出すことを実行したり、三世代交流ゲートボール大会を開いたり、ほんとに感心しました。
赤坂台でも、まだまだ工夫の余地があることを痛感させられました。

市長懇談会に出席して

沢田 俊子

〔校区福祉協議会理事〕

堺市幡谷豪男市長と南ブロック代表九名との懇談会が、二月十六日(水)午後一時半から四時まで、泉ヶ丘センタービルで開催されました。赤坂台からは女性をということで、私が出席することになりました。

自己紹介の後、各地区の近況と問題を述べましたが、どこでも駐車場不足が深刻だとの訴えがありました。

ゴミ分別収集については、市長から、平成六年度に一〇万戸、七年度に三分の一、八年度に全戸に実施したいとの計画が説明されました。

私は、泉北病院や新しくできる市支所へ乗換なしに行けるように老人に便利なバス路線を工夫して欲しい、各地域



前列左端が沢田さん

に老人憩いの家を設けて欲しい、寝たきり老人に心の楽しみをサービスして欲しい、介護者の高齢化にも手をさしおべて欲しい等々、とくに高齢化対策を要望しました。

時間に制限があり、十分に話せなかったのは残念でしたが、市長の前向きな姿勢には好感を持ってました。

川崎元さん

金剛登山二一八〇〇回突破

今回登場の川崎元さん(五丁三一九)は五三歳、一見ごく普通の人。ところが、今年

三月現在で、なんと金剛登山二八〇〇回を超す大記録の持ち主。きっかけは、十二年前に子供連れで昆虫採集に登ったのがはじまり、以来、週に四〜五回は登り続けて、この数

字。まさに、継続は力なり。釣りの腕前も玄人は

だしたそう。福岡出身の九州男児。

校区の子どもの健全育成にも一役かかっていただいている。今年、子ども会のソフトボール・チーム(林憲通監督)が校区一本化したのを記念して登山指導にあたられ、

二月二十七日は五回目、子どもたちは大喜びだった。

あの人この人 [6]



こだま

車椅子を借りたい

質問

実家の母が訪ねて来てくれましたが、足が不自由なので、こちらに滞在している間、車椅子を一時貸していただけたらと痛感しました。今後のこともあり、近くで気軽に貸してくださるところはないでしょうか。

(五丁・主婦)

回答

校区福祉協議会では、かねてから貸し出し用車椅子を備えたいと考えていたところなので、早速、堺市社協に福祉助成金を申請し、幸いに交付されれば、二、三台確保し、校区の皆さんに利用していただくことにしたいと思います。(会長・為村)

福祉協議会構成団体紹介(二)
中学校PTA

今年には赤坂台中学校創立二〇周年を迎え、PTAも記念事業に取り組んでいます。

PTAの活動は、本部役員と、各学級で赤坂台・新檜尾台両地区から選出された学級委員で組織する各種委員会を中心にしています。

各学年学級委員会と成人教育・環境整備・広報・校外補

導の四委員会があり、各委員長と本部役員で構成する実行委員会が年間の活動を企画します。昨年にはPTA会議室もできました。

なお、今年には創立二〇周年記念事業のため、恒例のバザーはお休みします。

高齢者

ガイドブック

『アクティブ』

堺市高齢福祉課では、平成五年度・高齢者ガイドブック『アクティブ』を発行しました。大判九六ページ、カラー印刷で、堺市の高齢者福祉施策を分かりやすく説明しています。

就業相談・スポーツ教室・税金・消費生活相談・住宅・健康相談・医療助成・ホームヘルパー派遣・介護サービス・福祉タクシー・精神保健相談・日常生活用具給付・高齢者ふれあいルーム・老人ホーム案内などが、詳しく述べられています。巻末の高齢者福祉マップも便利です。

問い合わせは、堺市高齢福祉課(電話三三三一一〇一)まで。

編集余話

★今年も、そろそろ三丁九番の桜の古木が咲くころ。満開の日が待ち遠しい。★校区内の小公園でタバコの吸い殻がやたら目に付く。大人ではないようだ。なんとかしなければの思いしきり。★昨年十二月、編集子眼科入院手術の際は、いろいろお見舞いいただき大感謝。お陰様で無事現場復帰しました。★前回十七号はSさん・Iさんに代わりただいたが、ご存じの通り見事な出来栄え。もはや編集子の出番はなくなったのではといささか不安。★そこで本号から気分一新で紙面構成を変更。これまで三面の「連合自治会のページ」は奥座敷の六面に移っていただき、それに伴い「こだま」や本欄は五面に引越し。感想をお聞かせください。(M)

連合自治会のページ

平成五年度を終え、平成六年度を迎えるに当り

平成五年は、政権の移動がありました。景気の低迷は回復しないまま、年を越しました。

また、異常気象による低温の影響で、米作は壊滅的不作となり、ガットの交渉の経過もあり、外国産米輸入が決断されました。

海外では、カンボジア内戦は、一応収まりましたが、旧ユーゴスラビアでは、民族・宗教の対立による内戦は、激しさを増し、多くの犠牲者をだしております。

連合自治会としましては、各单位選出の幹事の皆様方と共に、校区内住民各位の親睦と連携を図り、より良い生活

は、左記のとおりです。

会長 為村 収二郎

副会長 小林 功

同 未 定

書記長 犬塚 孝義

会計 平山 隆義

なお、会計監査人は、引き続き、留任します。

監査人 福士 敦彦

同 佐藤 邦広

また、福士監査人は、本年も相談役として、連合自治会業務に側面から協力することになっております。

平成五年度は、従来の専門委員会（総務委員会、近道対策委員会、体育委員会、ふるさと祭り実行委員会、環境対策委員会、婦人委員会）に加え、アペティート改造対策委員会を設置しました。

これは、昨年七月、丸紅とアペティートから、高層住宅建設、店舗改造計画説明と、

これに伴う協定書の協議締結依頼の申し出があり、これに対応したものです。

構成は、三役・総務委員会
委員・環境対策委員会委員・及び関係自治会として、一丁自治会・二丁公社自治会・四丁自治会・五丁自治会・六丁十四B自治会の会長です。

二丁公社自治会は立地上の立場から、独自に交渉協定書を交換し、その他の自治会は連合に一任することとなりましたが、五丁自治会は、独自の意見もあり、五丁の交渉を待つて連合自治会として協定書を交換する予定でしたが、

五丁自治会の交渉が長引き、工事も開始された状態で協定がないのは、好ましくないと判断で、一月十七日、二丁・五丁自治会を除くものとして協定書を交換しました。

住民被害の軽減が図られるものと考えております。